

2011年度

科目名	書論・鑑賞B				
担当教員	三木 麻子				
配当	日文3		コード	41029	
開期	後期	講時	木曜日1限	単位数	2
授業テーマ	書くことの意義を捉え、名筆を鑑賞する。				
目的と概要	古代から中世の日本において「書」とは何かを考え、名筆のかずかずを鑑賞する。				
成績評価法	期末試験60％ 授業内課題30％ 受講態度10％				
テキスト	神戸平安文学会編『仮名手引』(和泉書院) その他、プリントを配布する。				
参考書	講義中に紹介する。				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	『仮名手引』は手持ちの類書でも可。 配布した資料は必ず予習(下読み)して出席すること。				
講義計画					
1、入木道とは何か 2、平安時代の書物 3、鎌倉・室町・江戸時代の書物 4、装飾料紙 (1) 5、装飾料紙 (2) 6、西本願寺本三十六人集 (1) 7、西本願寺本三十六人集 (2) 8、源氏物語絵巻(1) 9、源氏物語絵巻(2) 10、冷泉家における古典書写 (1) 11、冷泉家における古典書写 (2) 12、冷泉家における古典書写 (3) 13、冷泉家における古典書写 (4) 14、冷泉家における古典書写 (5) 15、まとめ					